

HEART NET Vol.15

岩見沢市立総合病院 広報誌

2021年8月発行

ホームページ

<http://www.iwamizawa-hospital.jp>



TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください

はあとやっ



写真:新型コロナウイルスワクチン大規模接種の様子

新任のご挨拶

[特集]新人看護職員研修／医師事務作業補助者

[今回の職場紹介]栄養科／[レポート]透析予防診療チーム

[クッキング]健康レシピ／病院からのお知らせ



New Voice

新任のご挨拶

よりよい医療を目指すため
多方面から見て
常に自分をアップデート



副院長 大平 浩司
ōhira kōzi

2002年にはじめて岩見沢市立総合病院に赴任してから2021年4月までに計16年当院に勤務しています。医師になってからの半分以上の年月を当院で過ごしたことになります。

診察は消化器内科を担当しています。医療の進化はめざましく、消化器内科の中でもさらに細分化、専門化が進んでいますが、消化器疾患全般の標準的治療を岩見沢で行えるよう日々アップデートに勤めています。

数年前から栄養サポートチーム(NST)に参加しています。入院中の患者さんの栄養状態の改善を目指す多職種チームです。どんなに高い薬をつかっても、どんな名人が手術しても栄養状態が悪ければ病気は治りません、どんな健康な人でも栄養状態が悪ければ病気になります。当たり前のことなのですが、見過ごされていることが沢山あります。NSTに入ってから、消化器内科以外の病院の中が少し見えるようになってきました。

尊敬する先生から「医療は文化だ」と教えられました。自分が勤務医している間でさえ、患者さんを取り巻く環境は大きく変わっています。多くの近隣医療機関も縮小されています。岩見沢市立総合病院が果たす役割は大きく変わってきているように感じます。当院を利用する患者さんにとって、地域で暮らす皆さんにとって、そして病院で働くスタッフにとってよりよい病院であり、岩見沢によりよい医療文化ができるように、少しでも力になりたいと思っています。



New Voice

新任のご挨拶

医療を
安心、安全に提供できる
環境づくりの構築



医療技術部長 宮川 康宏
miyakawa yasuhiro

本年4月より医療技術部が新設され、医療技術部長を拝命いたしました宮川です。医療技術部は放射線科、臨床検査科、栄養科、臨床工学科、リハビリテーション科の5つの科と視能訓練士により構成されています。

総勢90名を超えるスタッフが8業種の国家資格を有し、それぞれの専門性を活かしプライドを持って日々業務にあたっております。

私は臨床検査技師として採用され、今年で30年になります。医療技術職スタッフは30年前に比べ格段に増え、その仕事内容も時代と共に大きく変化しております。特に最近はその専門性を発揮したチーム医療への参画、職域を超えた多職種連携、医師やその他の医療従事者とのタスクシフト／シェアが必要となっています。

当院は今後、病院新築に向けて基本計画、基本設計へ進んでいきますが、医療技術部のスタッフ皆が意見を出し合い、議論し合える環境作りを構築し、地域の皆様に安心、安全な医療を今後も変わらず提供できるように努力していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

新人看護職員研修



特集 新人看護職員研修

3階東病棟看護師長
岩上 和子
Iwagami Kazuko

今年度は当院に、24名の新人看護職員が入職しました。しかし昨年度、新型コロナウイルスの影響で、殆ど病院実習ができなかったため、例年よりも新人看護職員の不安は大きいと考えました。そこで看護部としては、そのような状況で入職してきた新人看護職員が安心して安全に看護業務が行えるように、集合研修や臨床現場での教育体制を強化しました。

入職時の集合研修は、4月2日～12日の7日間のプログラムで開催しました。病院・看護部の理念、情報管理など当院職員として必要な基本姿勢について学び、基礎看護技術はシミュレーターを使用した体験学習を行いました。



講師は看護部だけでなく、院長、管理課や情報管理部門、薬剤科、リハビリテーション科、検査科などの専門職にも担当してもらいました。専門職のスタッフから研修を受けたことで、新人看護職員から「多職種連携について考えられた」という感想が聞かれました。



また、新型コロナウイルス感染防止対策として、研修会場入室前の検温と体調確認、机の間隔を確保し密を回避し、昼食ではデスク用クリアパーテーションの設置を行いました。その結果、体調不良者はなく研修を修了できました。

5月は「社会人基礎力」というテーマで、北星学園大学教授濱保久先生の研修をリモートで行いました。濱先生の講義はバイタリティにあふれ、毎年新人看護職員から好評の研修です。しかし今年リモートだったため、対面授業に比べ臨場感が若干薄れてしまいましたが、それでも新人看護職員は先生からの問いかけにも反応よく、リモート映像に集中する姿がありました。



医療の質に貢献する陰の立役者



Medical Assistant

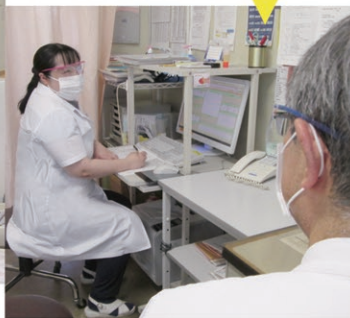
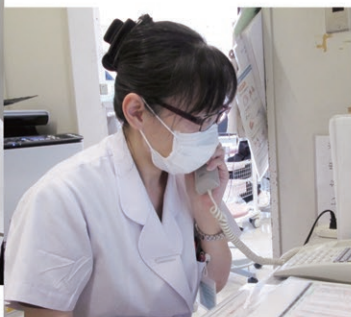
医師事務作業補助者とは？

医師事務作業補助者とは、その名の通り、医師の行う事務作業をサポートするスタッフのことです。その呼び方は病院によって様々で、医療秘書や医療クラーク、ドクターズクラークなどとも呼ばれていて、当院ではMA(メディカルアシスタント)と呼んでいます。現在当院には17名のMAが所属しており、外来や病棟に配置され、医師の指示のもと業務を行っています。

特集

医師事務作業補助者

医事課医事情報係
平井 慎也
Hirai Shinya



医師事務作業補助者の業務内容は？

医師の事務作業の負担を軽減し、医師が診療に専念できる環境を整えて、医療の質に貢献することがMAの主な役割です。業務内容は多岐にわたりますが、ここでは代表的な4つの業務内容をご紹介します。

1

診断書などの文書作成補助

診断書、診療情報提供書(紹介状)、保険会社等の診断書・証明書などの医療文書を作成しています。

2

診療記録への代行入力

医師の診察に同席し、診療記録の電子カルテへの代行入力や検査・処方などのオーダー入力の代行などを行っています。

3

医療の質の向上に資する事務作業

診療に関するデータの管理、手術の症例登録などを行っています。

4

行政上の業務

厚生労働省などに報告する診療データの整理などを行っています。

これらの業務の他にも医師の事務作業のサポートを幅広く任されています。現在、国が推進する医師の働き方改革において、医師事務作業補助者は欠かせない重要な存在となっています。医師や看護師のように直接医療行為を行うことはできませんが、医師や看護師などの医療従事者から患者様まで、幅広く人と関わり他職種をつなぐチーム医療の一員として、質の高い医療を提供できるよう努めています。



WORKPLACE INTRODUCTION

今回の職場紹介

栄養科のご紹介

栄養科主任 管理栄養士 木村 香織

当院では、食事も治療の一環と考え、入院中の患者様一人一人の病状や身体状況に応じた食事の提供を行い、栄養状態の改善・維持に努めています。

食数は1日約800食で、そのうち特別食や術後食は約350食となっています。特別食は約15種類あり、その他嚥下調整食(摂食・嚥下障害患者様への食事)やなごみ食(化学療法により食欲が低下している患者様の

食事も治療の一環。

患者様一人一人に併せた食事の提供を心がけ

症状や嗜好に合わせた食事)、お祝い膳(ご出産のお祝いの食事)なども提供しています。

またチーム医療の一員として、NST(栄養サポートチーム)や褥瘡対策チーム、糖尿病透析予防診療チーム、緩和ケアチームなどにも所属し、多職種と連携しながら患者様の栄養管理を行っています。

一般常食 三色丼

週3回(月・水・金の昼食と夕食)選択食を提供しています。2種類のメニューからお好きな方を選ぶことができます。



なごみ食 サンドイッチ

化学療法による食欲の低下を改善できるよう、彩りや味付けに配慮した食事を提供しています。



行事食 クリスマス

入院生活の中でも季節を感じていただけるよう、四季折々の食材を使用した行事食を提供しています。(※一般食のみ)



お祝い善 和食

ご出産のお祝いとして、和食・洋食から選べる「お祝い善」を提供しています。

栄養指導として入院・外来の患者様を対象に、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病をはじめ様々な疾患の栄養指導を実施しています。





REPORT 透析予防 診療チーム

透析予防診療チームの活動

血液浄化センター 透析看護認定看護師 平崎 奈央子

糖尿病の患者さんは、生活習慣と社会環境の変化に伴って急速に増加しています。糖尿病は、ひとたび発症すると完治することはありません。また、治療を放置したり、十分な管理を行わないと様々な合併症を引き起こす疾患です。合併症には、3大合併症といわれる糖尿病性網膜症・糖尿病性腎症・糖尿病性神経障害があります。また、冠動脈疾患・脳血管障害・下肢閉塞性動脈硬化症などの動脈硬化性疾患、足病変などもあります。患者の高齢化や合併症の併発により、QOLの低下や医療経済的負担が深刻化しており、今後も増大すると考えられています。特に腎症が進行した場合は、腎機能が低下し、腎不全に至ると透析療法が必要となります。

糖尿病性腎症は透析導入の原因として最も多い疾患です。このため、糖尿病性腎症の重症化予防が重要な政策課題として取り上げられています。糖尿病にならないための予防や糖尿病の合併症を予防すること、さらに早い段階から医療者が介入し支援することで、透析へ移行することを防ぐことが重要となります。

当院での維持透析患者の半数以上が糖尿病性腎症です。透析療法を開始すると、一生継続くものとなりQOLの低下に伴い身体的負担だけでなく、心理的にも社会的にも困難を抱えやすくなります。実際に透析を導入した患者さんからは、後悔の念を抱く言動が聞かれます。透析移行への予防を図るため、当院では、平成24年8月より、透析予防診療チームを結成し活動を開始しました。チームメンバーは、医師、看護師、管理栄養士、理学・作業療法士、薬剤師、医事課の多職種で構成しています。チーム活動の中では、糖尿病性腎症2期以上の患者さんに対して、多職種による連携のもと患者さん個々に合わせた疾患についての説明や指導（栄養指導、運動指導、服薬指導、生活指導）を行っています。この活動で、患者さんが医療者へ相談できる環境になっていること、また、医療者も患者さんと話し合う時間を持ち、対象者への理解を深めることで、必要な支援の提供につなげることができていると実感しています。平成30年度からは、フットケアチームとの連携体制を作り、フットケアによる足病変の重篤化の予防に努めた活動にも取り組んでいます。

今後も、糖尿病性腎症を予防できるように、通院されている患者さんと共に頑張っていきたいと考えています。また、糖尿病教室や多職種との連携で患者さんにより良い支援を提供できるよう努めて参ります。



COOKING

クッキング

栄養科 管理栄養士
砂澤 光希

炊飯器で簡単!
免疫力アップレシピ

材料 3~4人分

- 米 2合(といでおく)
- オリーブオイル 少量
- コンソメ 小さじ2
- トマト缶 1缶
- 玉ねぎ 1/4個
- しめじ 50g
- バター 10g

OnePoint!

- トマトには目や口、鼻などの粘膜の機能を整えるβ-カロテンが豊富に含まれています。
- 他のキノコ(エリンギ・舞茸など)で味変ができます。
- チーズ・パセリをかければ、免疫力をサポートする乳酸菌・ビタミンCも摂れます。

健康レシピ トマトとしめじの炊き込みご飯



作り方

- ① お釜に米・オリーブオイル・コンソメを入れ、水を2合弱入れて全体を混ぜ合わせる。
- ② 玉ねぎを粗みじん切りに、しめじは石突きをとる。
- ③ ①のお釜に2とトマト缶を入れ、表面を平らにして炊飯器のスイッチをオン
- ④ 炊き上がったら、バターを入れて混ぜれば出来上がり。

病院からのお知らせ

サービス向上委員会 事務局

現在当院では、新型コロナウイルス感染症防止対策として原則、入院患者さまへの面会を禁止しております。

長期間、直接面会が出来ず不安に思われている方々のために2020年12月より当院では、直接面会に代わる手段としてタブレットを利用したリモート面会サービスを開始することにいたしました。

月～金曜日(祝日を除く)14:00～16:00(1回あたり10分程度)



ご利用希望の方は、当院ホームページからお申込みください。

【予約受付フォーム】

https://www.iwamizawa-hospital.jp/remote_form.html



はあとねっと15号をお届けします。

夏到来!! 野外活動が増えてくる時期ですね。今年は暑い夏になりそうです。

水分補給を心掛け熱中症には十分注意しましょう。6~7月に岩見沢市内各所において、高齢者対象の新型コロナウイルス大規模ワクチン接種を計4日間行いました。関係各所の皆さまご協力いただきありがとうございました。これからも、安全・安心な医療を提供するため全職員一丸となり病院で感染予防対策も継続し行っていきます。

今後も「はあとねっと」を通じて、地域の皆さまに新しい取り組みや診療に関する情報をお届けしていききたいと思います。



サービス向上委員会 事務局